



島の活性化に熱視線 久米島住民国と意見交換

【久米島】内閣府「ふるさとづくり実践活動チーム」の委員5人が7日、町を訪れて「ふるさとづくり実践活動in久米島」と題した会合を開き、島おこしに取り組む住民らと意見を交わした。写真。チームは本年度設置され、会合は滋賀県長浜市に続いて2

回目。町内から4人が活動を説明した。手作り黒糖を販売する「おやつ村」||町比嘉||の儀間一美さんは、手作り食品を扱う女性らと一緒に特産品市を続ける。24時間365日対応の介護事業所「生活ing(くらしんぐ)」||町真謝||

の宇根哲也さんは、独り暮らしのお年寄り訪問介護や、草刈りなどの支援をしている。花の種苗施設を運営する「NPO久米島」||町兼城||の松山悦子さんは、町内一周道路を花でつなぐ活動に取り組む。「FMくめしま」||町仲泊||の宇江城久人さんは、キャンプを張った東北薬科大学の学生らと交流する。ゲストに招くなど住民に会話を交わす。内閣府チーム委員の武田道

仁さんは「ふるさとづくりに継続した人づくりが大切」とアドバイス。主催者の河井克行・内閣総理大臣補佐官は「意見交換を通してふるさとづくりに磨きをかけてほしい」とあいさつした。

(比嘉正明通信員)

しましま+トピックス